経済の鼓動

企業の社会貢献

障害者を積極的に雇用

日本ウエストン 社会福祉法人と協業

障害がある人を積極的に雇用する日本ウエストン（岐阜市）は、工場の機械の油汚れなどを拭き取る布（ウエス）の製造やクリーニング、リサイクルが本業というユニーク企業だ。

「仕事が楽しい」

東海道新幹線の岐阜羽島駅から車で約15分。日本ウエストンの工場では、何台もの大型洗濯機が稼働していた。洗濯機の横で作業していた知的障害者の古沢聡臣（さとおみ）さん(34)は「皆と一緒に仕事ができてとても楽しい」と明るく笑った。

同社の従業員は30人。うち障害者は6人と雇用率は20%、法定雇用率（2・0%）の10倍だ。

日本ウエストンは会長の臼井清三氏(78)が1970年に創設した。当時、印刷や自動車、半導体の工場などで機械や部品、製品を拭くウエスは、綿製の下着や古着が使われ、使用後は焼却処分されていた。

同社は、ウエスや作業用の手袋を洗濯して再利用する事業を始めた。

地球環境への問題意識の高まりを受け、日本では廃棄物処理やリサイクルを推進する循環型社会形成推進基本法が2000年にでき、企業の環境保全意識が高まった。日本ウエストンへの注文は次第に増加。最近は1日に100万枚の手袋をクリーニングするという。

「あの黄色い布の山は三菱航空機の機体を磨き上げるウエスだ」と説明してくれたのは臼井麻紗杜（まさと）社長(51)だ。H2ロケットでも同社のウエスが使われるなど納入先は今では約2千社に上る。

日本ウエストンでは、洗濯用に1日に約200トンの水を使用する。大量に出る排水は化学薬品を使わずに微生物で分解する。浄化した水は洗濯用に再利用している。

清三氏が会社に障害者を受け入れ始めたのは80年代前半のこと。近所の病院から「精神障害のある患者を社会復帰させてほしい」と頼まれたのがきっかけだ。その後、障害者のいる家族から依頼が相次ぎ、身体、知的障害者も含めて、従業員50人のうち30人を障害者が占めた時もあるという。

「キャスト」

01年、清三氏は社長ポストを娘婿の麻紗杜氏に譲った。退職金で精神障害者の社会復帰を支援する社会福祉法人「清穂会（せいすいかい）」を設立した。

麻紗杜社長は「父は障害者の職業訓練の重要性を痛感して清穂会を設立した。清穂会は二つの事業所を運営。現在92人の精神障害者が登録し訓練を受けている」と話す。

麻紗杜社長は今では清穂会の理事長も兼務している。「清穂会も含め当社グループでは、障害のある従業員をキャストと呼んでいる。ディズニーランドが従業員やスタッフをそう呼んでいるのを参考にした」

日本ウエストンは、同社が引き受けた仕事の一部を清穂会傘下の事業所に外注している。

具体的には、汚れたウエスや作業用手袋の分類、洗濯後の選別や梱包（こんぽう）作業を二つの事業所が受け持ち、営業や回収、洗浄はウエストンが実施する協業関係を築いている。事業所で技術を身に付けた障害者はウエストンや他の会社に就職する。

人手が要る作業

ウエスや手袋の回収や分類、選別などは人手が要る労働集約な作業。

「障害者は、労働集約的で単調な作業を続けることができる特性を持っている」と社長は話す。

国は障害者の雇用促進を図っている。「障害者が普通に暮らし地域の一員として生活できる社会実現には就職して自立する必要がある」（厚生労働省）との考えからだ。

13年4月には障害者の法定雇用率が1・8%から2・0%へ引き上げられた。18年4月からは法定雇用率の算定（身体、知的障害者が対象）に新たに精神障害者が加わる。精神障害者の雇用を促進するためだ。

精神障害者に対しては、病気への理解が進まず、就労してもすぐに退職してしまうケースもある。

麻紗杜社長は「精神障害者は薬を飲みながら就業する場合も多く、季節によって体調が悪くなって急に休むこともあるが、無理をさせてはいけない。障害者を雇用することが企業の社会的責任と思って取り組んでほしい」とアドバイスする。

日本ウエストングループには、国内外から年に約400人の見学者が訪れるという。（共同通信編集委員　渡部道雄）

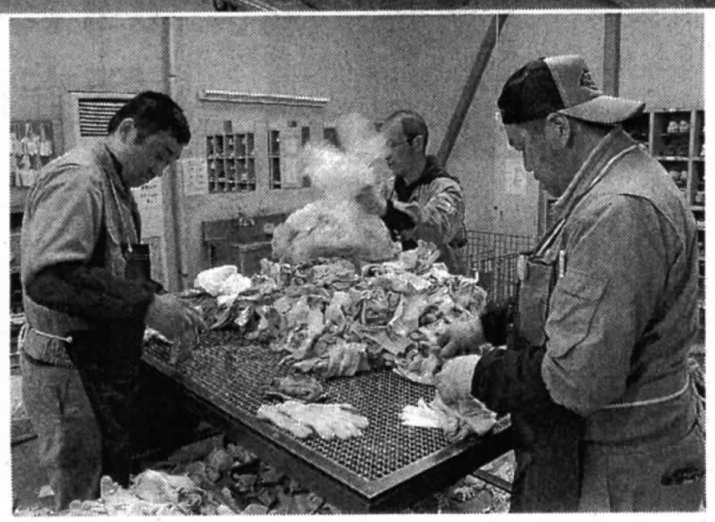
精神障害者の雇用課題

厚生労働省によると、2014年の日本の障害者（身体、知的、精神）数は約788万人。うち民間企業には約43万人が雇用された。内訳は身体障害者が74%、知的障害者は21%。精神障害者は5%と低く、雇用促進が課題になっている。身体障害者の場合、作業用机の高さ調整など職場のバリアフリー化で対応できるが、精神障害者は対処が難しいためだ。

日本ウエストングループは、医師や家族ときめ細かく連絡を取ってサポート。「長年、精神障害者への接し方などノウハウを蓄積してきた」（臼井麻紗杜社長）という。

2018年4月からは精神障害者雇用の取り組みが強化されるが、受け入れる企業側には戸惑いもある。こうした現状を受け、人材サービス「テンプホールディングス」の子会社は、今年1月から精神障害者の就労支援サービスに乗り出した。

大型洗濯機で洗浄する従業員＝岐阜市の日本ウエストン



洗濯するため作業用手袋の仕分けをする入所者＝岐阜市内の障害者の作業訓練事業所

インタビューに答える日本ウエストンの臼井麻紗杜社長

洗濯を終えた作業用手袋の仕分けをする入所者＝岐阜市内の障害者の作業訓練事業所